

第232回液体クロマトグラフィー研究懇談会

日時 2010年7月16日(金) 13:00~16:50

会場 株式会社日立ハイテクノロジーズ 本社

〒105-8717東京都港区西新橋一丁目24番14号 電話 03-3504-7111

交通: JR 新橋駅より徒歩10分

営団地下鉄銀座線 虎ノ門駅より徒歩5分

営団地下鉄千代田線 霞ヶ関駅より徒歩7分

営団地下鉄三田線 内幸町駅より徒歩7分

(<http://www.hitachi-hitec.com/about/profile/access/link/hq.html>)

開催趣旨

最近、各液クロメーカーより斬新な機能を搭載したHPLCが発表されています。最新のHPLCの機能や特徴について情報を共有するとともに、新機能のいくつかはMSを対象としているものがあるためLC/MSとして使用する場合の利点などについて紹介させていただきます。併せてMSメーカーとLC/MSユーザーの立場から日頃使う上で気付いたLCのMSとの相性やLCに対する要望等について発表し、議論していきます。

講演主題 最新 HPLC 事情 ~MS との相性~

講演 講演主題概説(オーガナイザー) (13:00~13:05)

(ブルカー・ダルトニクス(株)前川保彦)

1. MSインレットとしてのUPLC (13:05~13:30) (株)日本ウォーターズ) 林 一仁

2. 最新UHPLCシステムとキャリーオーバー極少化へのアプローチ(13:30~13:55)

(株)島津製作所) 早川禎宏

3. LC/MSのためのHPLC開発 (13:55~14:20) (ジーエルサイエンス(株) 鈴木幸治

4. ダイレクトナノフローRSLCnanoから超高压高速分析を実現するRSLCのメカニズム

(14:20~14:45) (日本ダイオネクス(株) 大河原正光

休憩 (14:45~15:00)

5. LC/MSが必要とするHPLCのハード特性・ソフト特性 (15:00~15:25)

(ブルカー・ダルトニクス(株)渡辺 淳

6. NanoLCとMSによるマーカー探索の可能性 (15:25~15:50)

(株)日立ハイテクノロジーズ) 山下博教

7. 定性から定量プロテオミクスへ: 適したLCとMSの組み合わせとは何か?

(15:50~16:20) (味の素(株)ライフサイエンス研究所) 山田尚之

8. 総括: HPLCとMS (16:20~16:50) (東京理科大学薬学部) 中村 洋

参加費 LC研究懇談会会員: 1,000円, 協賛学会会員(日本分析化学会含む): 3,000円,

その他: 4,000円, 学生: 500円(参加費は当日申し受けます)

カタログ展示はできません。

情報交換会(17:00~19:00) 講演終了後、講師を囲んで交流会を開催します(会費3,000

円)。希望者は必ず前もってお申し込みください(参加費は当日申し受けます)。

申込方法

参加希望者は、同封の参加申込書にご記入の上FAXまたは同内容をEメールよりお申し込みください。参加証は発行致しませんので、直接会場にお越しください(定員締切後の申込につきましては後日ご連絡します)。

申込先 〒141-0031東京都品川区西五反田1-26-2五反田サンハイツ304号

社団法人日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会

[電話:03-3490-3351, FAX:03-3490-3572, E-mail:hm_tanaka@jsac.or.jp]